

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成 29 年 12 月 4 日同時配布



平成 29 年 12 月 4 日
国土技術政策総合研究所

共同研究成果報告会「木造住宅の雨漏り、結露、劣化リスクを考える」 ー建物外皮に着目した木造住宅の劣化対策ガイドラインについてー 開催のお知らせ！

国総研は、大学および住宅検査機関、住宅供給団体、住宅工事団体、材料・部材製造者団体など実務者との共同研究を 5 年間にわたり実施し、その成果を国総研資料 No. 975「木造住宅の耐久性向上に関わる建物外皮の構造・仕様とその評価に関する研究」として公表しました。

この度、その成果の内容を実務者向けに分かり易く解説する説明会を、下記のとおり開催いたします。

1. 日 時：2018 年 2 月 15 日（木） 13：00～16：45
2. 場 所：すまい・るホール（東京都文京区後楽 1-4-10 住宅金融支援機構 1F）
3. 主 催：国土交通省 国土技術政策総合研究所
4. 内 容：設計・施工、住宅検査、材料・部材研究開発等に携わる実務者を主な対象として、国総研資料に掲載されている木造住宅の雨水浸入や結露に伴う劣化リスク、不具合事例、屋根・外壁・バルコニーの推奨仕様、維持保全方法、住まい手との情報交換などについて分かり易く解説します。概要は別紙 1、プログラムは別紙 2 をご参照下さい。
5. 参加費：無料
6. 参加登録：参加ご希望の方は下記のウェブページから申し込みください。
<https://goo.gl/2Uoz65>
7. 取材申し込み：説明会当日に取材を希望される場合は、2 月 14 日（水）午前中までに、別紙 3 の FAX 用紙にて申し込みください。

問い合わせ先

国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室

室長 森田高市、主任研究官 宮村雅史(主担当)

Tel.029-864-4339 E-mail：miyamura-m92ta@mlit.go.jp Fax：029-864-6774

※会場へのお問い合わせは、ご遠慮下さい。

共同研究成果報告会「木造住宅の雨漏り、結露、劣化リスクを考える」

ー建物外皮に着目した木造住宅の劣化対策ガイドラインについてー

1. 日 時：2018 年 2 月 15 日（木） 13：00～16：45
2. 場 所：すまい・るホール
東京都文京区後楽 1-4-10 住宅金融支援機構 1F
3. 主 催：国土交通省 国土技術政策総合研究所
4. 協 力（共同研究締結機関）
東海大学、東洋大学、関東学院大学、早稲田大学、横浜国立大学、ものづくり大学、
一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会、一般社団法人 日本木造住宅産業協会、
一般社団法人 全国中小建築工事業団体連合会、一般財団法人 中小建設業住宅センター、
一般社団法人 日本左官業組合連合会、一般社団法人 全日本瓦工事業連盟、
一般社団法人 日本金属屋根協会、一般社団法人 日本防水材料連合会、
NPO 法人 湿式仕上技術センター、NPO 法人 住宅外装テクニカルセンター、
全国陶器瓦工業組合連合会、透湿ルーフィング協会、屋根換気メーカー協会
5. プログラム：別紙 2
6. 配付資料：当日、講演資料を配付。（後日、国総研 Web サイトにも公表予定）

※当日は、2011～2015 年度に実施した共同研究の成果物である、下記の資料の概要を説明します。

国土技術政策総合研究所資料 第 975 号：共同研究
成果報告書「木造住宅の耐久性向上に関わる建物外皮
の構造・仕様とその評価に関する研究」

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0975.htm>



7. 参加費：無料
8. 参加登録：参加希望の方は、下記のウェブページから登録をお願いします。

<https://goo.gl/2Uoz65>

※申込み順に登録し、定員（265 名）になり次第、締め切らせて頂きます。

9. 会場位置図：<http://www.mlit.go.jp/common/001184510.pdf>



住宅金融支援機構 本店 1 階
すまい・るホール
東京都文京区後楽 1 丁目 4-10
駐車スペースは当日ご利用に
なれません。

【住まい手向け】長持ち住宅ガイドライン

耐久性を向上させる家造りガイドライン

【長持ち住宅の選び方】

【長持ち我が家を築く！ 造り手との情報交換ツール】

【住まい手のための 材料・部材選択シート】

【住宅外皮重要ポイントチェックリスト】

4種類のツールにより長
寿命の家造りに役立つ
情報を提供

我が家を長持ちさせるための メンテナンスガイドライン

長寿命化させるための外皮の メンテナンスガイドライン

各種屋根の経年劣化事例調査

点検の重要性、経年劣化傾向、
メンテナンススケジュール、LCC、モニタリ
ング、住まい方などの情報を提供

木造住宅の劣化リスクを把握し、具体的な対
応策を施すことが可能となるようガイドライン
を用いて長寿命化方法を判りやすく提案

【造り手向け】リスク分析・評価ガイドライン

1. 水分による各種の劣化リスク要因と問題点を明確化
2. 外装の隙間からの雨水浸入リスクの評価方法を提案
3. 木部の含水状態による腐朽危険度の予測手法を提案
4. 異業種による外皮の施工取り扱い部のリスクを明確化
5. モルタル外壁の接合部の耐久性評価方法を提案
6. 木造住宅外皮の設計施工に起因する不具合事例を明示

各種の仕様を対象にして、水分による劣化リスクを把握する
とともに、設計・施工に伴う不具合の要因と劣化事例を紹介

【造り手向け】設計・施工ガイドライン

1. 各種の屋根の耐久性を向上させるための「**通気下地屋根
構法**」の設計施工要領を提案（屋根に通気層を設置）
2. 雨水浸入しやすい部位を対象とした**推奨仕様**を提案
3. **真壁木造**外壁の**防水**設計施工基準を提案

雨水浸入事例の多い外壁、窓まわり、バルコニー、屋根、およびこ
れらの取り扱い部を対象として、各々の不適切な納まりに対する雨
水浸入要因を解説するとともに、検証試験により確認された推奨納
まりを提案。

4. 木造住宅外皮の**換気・通気**計画ガイドラインを提案

雨水浸入を防ぎきれない場合の構成部材の乾燥を促すため、屋根
や外壁の換気・通気方法を示すガイドラインを作成。



撒水検証試験など



住まい手と造り手が技術情報を
共有し、相互理解することにより
木造住宅の耐久性が向上する。

劣化実態
調査結果



共同研究成果報告会「木造住宅の雨漏り、結露、劣化リスクを考える」
ー建物外皮に着目した木造住宅の劣化対策ガイドラインについてー

プログラム

司会進行：井上照郷（NPO 法人 湿式仕上技術センター 事務局長）

12：00～ 開場

13：00～13：10 開会挨拶

福山洋（国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部長）

13：10～13：35 共同研究の全体概要

石川廣三（委員長、東海大学 名誉教授）

13：35～14：15 住まい手に向けた長持ち住宅実現のガイドライン

宮村雅史（国土交通省 国土技術政策総合研究所 主任研究官）

14：15～14：55 木造住宅の水分に起因する劣化リスクの分析と評価

齋藤宏昭（足利工業大学 教授）

14：55～15：10 休憩

15：10～15：50 屋根および外壁の設計・施工に起因するリスク・不具合と耐久性評価

梅田泰成（日本木造住宅産業協会 技術委員会委員）

15：50～16：30 木造住宅の屋根および外壁の設計・施工ガイドライン

輿石直幸（早稲田大学 教授）

16：30～16：45 総括

中島正夫（関東学院大学 教授）

閉会

国土交通省 国土技術政策総合研究所
建築研究部 構造基準研究室 宮村あて
FAX : 029-864-6774

共同研究成果報告会「木造住宅の雨漏り、結露、劣化リスクを考える」
ー建物外皮に着目した木造住宅の劣化対策ガイドラインについてー
の取材を申し込みます。

御社名・御所属 : _____

ご氏名 : _____

ご住所 : _____

電話 番号 : _____

メールアドレス : _____

※2月14日（水）午前中までにご連絡をお願いします。